

編集と発行 高知県安芸郡馬路村 馬路村公民館  
印刷 川北印刷所

# まじ

### 人口と世帯数

(2月末日、住民基本台帳による)

大字	男	女	計	世帯数
馬路	657	672	1,329	410
魚梁瀬	461	456	917	333
計	1,118	1,128	2,246	743

### 一口辞典

馬路村の面積  
S.43.7.現在(Aa)  
総面積 16,507

うち	
田	41.72
畑	15.25
果樹園	10.24
山林	15,941.82
その他	497.97

(村振興計画書から)

## 新議員十四人決まる

### 新人四人が当選

#### 馬路村議会議員選挙

任期満了に伴う、馬路村議会議員選挙は、十八人が立候補、八年ぶりの選挙戦となりました。投票は一月十九日、午前七時から午後六時まで馬路・魚梁瀬公民館で行なわれました。

開票は、午後七時から役場で行なわれ、新人四人を含む、十四人の議員が誕生しました。当選者の内訳は、現議員十人、新人四人。

党派別では社会、共産各一人のほかに、無所属です。

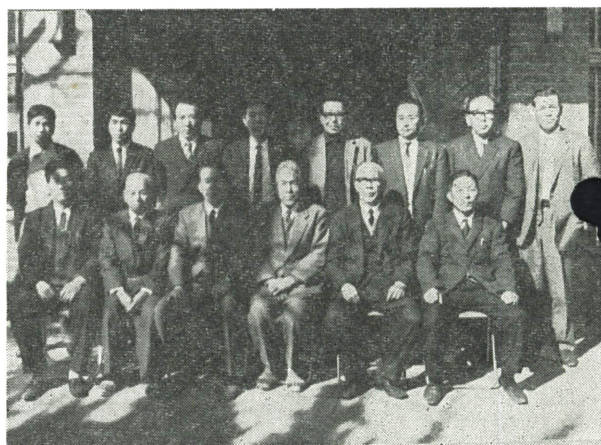
当日有権者数 一千五百七十人  
投票総数 一千四百二十票  
有効総数 一千四百七票  
無効 十三票  
投票率 九十一・四五%

投票の結果は次のとおりです

(定員十四人)立候補十八人  
(議員歴は今回を含まず)

(当)谷井 光詮(52) 一五・六四票  
社・現二期・林業・馬路  
(当)浜田 守人(26) 一四票  
無・新・林業・馬路  
(当)尾谷 利晴(50) 二一・〇三票  
無・現一期・農業・馬路  
(当)岡野 利幸(35) 一〇票  
無・新・石油販売業・魚梁瀬  
新人四人  
(当)門田 整(30) 一〇票  
無・現六期・林業・魚梁瀬  
(当)尾谷 康喜(48) 七・九七票  
無・現一期・商業・馬路  
(当)山崎 寅次(79) 九票  
無・現五期・商業・魚梁瀬  
(当)島中 住龜(67) 八票  
無・現一期・農業・馬路  
(当)下司 定幸(44) 七票

無・新・運転手・魚梁瀬  
(当)笹岡 武治(69) 七・六四票  
無・現二期・農業・馬路  
(当)大野 盛(63) 六票  
無・新・神職・馬路  
(当)清岡 寿幸(48) 五・六六票  
共・現二期・林業・馬路  
(当)清岡 勉(59) 五・六六票  
無・現四期・農業・馬路  
(当)清岡 繁芳(57) 五・六六票  
無・現一期・農業・馬路  
(次)谷井 統(60) 四・七三票  
無現  
小松 利一(39) 四票  
無現  
笹岡 金次(69) 四・三三票  
無現  
小谷 春行(70) 一〇票  
無現



議長 尾谷利晴さんが当選  
副議長 門田 整さん

#### 組織 議会

大野 盛(63) 無	教育厚生委員会
尾谷 康喜(48) 無	委員 笹岡 武治(69) 無
尾谷 勉(59) 無	委員 下司 定幸(44) 無
尾谷 利晴(56) 無	委員 浜田 守人(26) 無
産業建設委員会	委員 尾谷 利晴(56) 無
委員 島中 住龜(67) 無	委員 岡野 利幸(35) 無
委員 清岡 繁芳(57) 無	委員 清岡 寿幸(48) 共
委員 清岡 勉(59) 共	委員 門田 整(63) 無
新議長略歴	
尾谷 利晴(馬路・日浦・馬路)	
小卒。助役・収入役・教育長	
を経て四十二年議員。農業・	
五十六歳。	
新副議長略歴	
門田 整(魚梁瀬・魚梁瀬小)	
卒。村議七期目。議長三回、	
副議長四回。前議長。林業・	
六十三歳。	

## 過疎問題現地 座談会開かれる

### 座談会開かれる

過疎について悩んでいる現地で住民の生の声を聞き、県政に反映させようとする、過疎問題現地座談会が一月下旬、馬路村役場で開かれました。

県からは、福島副知事、県議会の栗生・中村・三谷議員、地元選出の平山議員、小松過疎対策本部次長ら十三名が出席。村内からは、山崎村長、住民代表九名が出席、活発な意見を述べました。

まず福島副知事から、過疎問題は、県政にとっても、最大の問題である。

県としては、道路網充実などの基盤整備・過疎地の特性を生かした地場産業の育成・健康管理、教育の充実による、生活環境の整備を三本の柱として

今日、座談会で、過疎に悩む現地の声を聞き、県政に反映したい。

馬路村は今の所、過疎地の指定を受けていないが、人口減少の点では、過疎地であるだろう。過疎地でも、村内に在住している人が、協力しあって、住みよい地域づくりに努めてもらいたいとの挨拶がありました。

村長は挨拶後、村の人口減少の実態、若者の流出による、林業作業員の高令化、道路、観光等について、村内の現状を報告しました。

清岡さんは、馬路村の将来を、新しい村づくりの向上に意識して来た。しかし、村行政全体を見わたすことができず、今後、村、県関係者や、知識人と若者との話し合いの場を作ってほしい。

ユズ栽培の指導員の配置、稲作の請負耕作等について意見発表がありました。



式部さんは、医療対策で、へき地における医師の確保、保健婦の不在、老人の無料診療。道路問題で、馬路・魚梁瀬間の未舗装、県道の土砂くずれ、魚梁瀬ダム付近の凍結道路、観光問題等について発表しました。他の代表者から、過疎地の教育問題等が話題に上りました。

県道馬路・魚梁瀬間の舗装は今までの予算がまわれば四十六年度には、久木附近、魚梁瀬までは四十七年か四十八年度には完成の予定。しかしダム頂上付近の凍結が問題であるが。

(医療、老人対策関係)  
へき地の医師確保については、国、県で、へき地勤務の医師の大学を設置して、医師を育成する予定。

馬路村の保健婦は四月から、必ず駐在する。

老人の無料診療は国も検討している、近く実現は、しないだろうか？

(その他)  
青年の育成は、大変なことである。県も今年を「青年の年」として、青年の船の運行などを計画している。

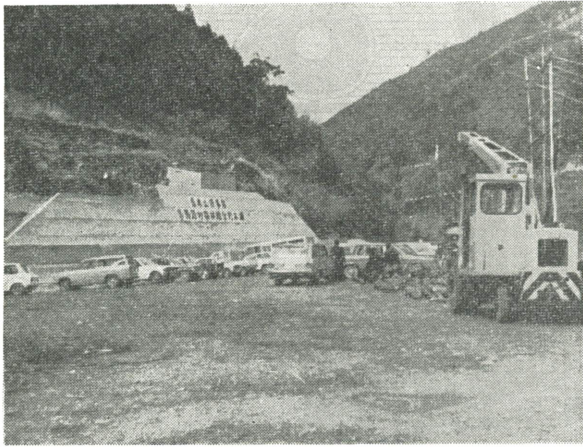
以上のような答弁が県側から、ありました。

過疎対策委員の(二面へ)

## 日誌

- 一月
- 1日 元旦
- 4日 御用始め
- 6日 馬路村消防団出初式
- 15日 成人式
- 19日 村議会議員選挙投票日
- 26日 組織議会
- 27日 馬路村過疎問題現地座談会
- 二月
- 8日 産建委員会
- 11日 建国記念日
- 27日 村緑美化推進会議 記念植樹(馬小へき集)

# 民有林馬路村森林組合 貯木場落成!!



林業立村を村是とする馬路村は、四十二年度県単山村振興特別対策事業に引続いて四十五年度から第三次県単山振事業も実施計画を樹て、その第一年度補助事業において総事業費四四一、二〇〇千円、融資事業二、一〇五、千円計六、六一六千円を実施することになって居りますが、この事業の主なる森林組合の民有林貯木場が朝日山部落対岸の通称横岩の県道沿いに地主の理解ある協力を得て、昨年九月から森林組合の発注により魚梁瀬和田建設の請負で工事に着手十一月完成し、本年二月十八日県並に高知管林局長、地元管林署はもとより関係団体等約八〇名出席のもとに記念式典を催しめでたく落成いたしました。

貯木場の総面積は約四、六〇〇平方メートル(四反六畝)、これの対象事業費三、三〇六千円、その他土地買収費及び附帯工事等を含めて総額約六、五〇〇千円を要して居ります。山振事業に係る補助金は二、八四〇千円、公庫資金借入一、八六〇千円で残り一、八〇〇千円が組合負担分となって居ります。

この土場で取扱う素材は年間六、〇〇〇立方メートル(二一、六〇〇石)で従来田野浜土場で要した労働力延九〇〇人の仕事量が村内にできた訳です。また地元貯木場ができたことにより今迄のひと山幾らという売り方ではなく選材が自由にできるの有利に販売される訳で良質材生産の時代を迎えた折柄、貯木場の落成は林業村にとって誠に喜ばしいこととあります。

(一面から)三県議員、地元平山県議員からは次のような感想、意見がありました。

◎発表者は簡単、明瞭に意見を述べ、ぐすくす?であった。◎県下各地で、座談会に出席したが、馬路村は活発な会であった。

若者が政治に、無関心ではない。七十年代は、ヤングマンの時代である。(青年団活動等の活発化)

自然公園の整備(道路がつく。ガソリンスタンドが建つ。朝起きて窓を開ければ、ココロの音がする。ではないか。今後の観光は、原始にかえった観光開発に変わるだろう)◎農地普及については、指導体制の強化が必要。

◎明日からの生活に密着する県政を。

大木屋(小石川線完成後は、国道に昇格し、明石、鳴門線と、県東部を結ぶ、主道路にしたい。七十年代は、ヤングパワーの時代である。)

政治、行政の場へ、若者を入れる機会を与えてやるべきである。

などが述べられました。

約二時間半にわたり、色々の問題が出され、盛会のうちに、終了しました。

過疎地の切実な問題を順次、とり上げて県政へ反映させていただけならば、この座談会の目的が達成されることと思えます。

## 良質材生産をねらう (その2)

日本経済の伸張は世界に類がなく、そのスピード振りはまさに驚異的なものであると謂われている。

例え過密、過疎の現象がそれ程で明初期一番人口の多かつた新潟県が一五五万、東京は九六万(現在マンモス都市一、〇〇〇万という)

日本の裏、即ち日本海側と表の太平洋側にほぼ同じ人口が住んでいて、この二十年の間、ここ十年位の間にくつれてしま

い東京大阪の大都市に集中され東海道線を毎日四〇万人の人間が移動しているという。

また工業化の進展においても目覚ましいものがあり、農業人口が半減するの文明の諸外国は五〇年以上か

## 林業講座

(13)

それではもう造林してもだめかと思気消沈しては益々林業は他産業から取り残されてしまっています。

枝打ちをやりましょう

経済が豊かになるに従ってテレビ、クーラー、自家用車、そしてマイホーム。その住宅も今や十人の内八人が自分の家がほしいという統計が発表されて居ります。それも日本間の床や縁側のある、庭に樹を植えた落付いた家とだんだんぞいいたくなくなると謂われていること

から国産材の今後の利用は良質材でなければならぬということになる訳です。短期間に良質材を生産するには枝打作業が絶対条件であることも今更申し上げるまでもありません。しかしその良いと解っている枝打ちに労力がない。高い労働賃金を払って三〇年さきに果して投資効果があるのか、という疑問を持たれる方も多いと思えます。

別表(1)は福島県の林業事務所管内で実際に行なわれている良質材生産と普通材の比較資料を転載致しました。枝打ちすることによってスギでは普通材の四・八倍ヒノキでは六・八倍の収益があることが解ります。

もし今の木材価格の半値になったとしても倍以上の儲けになります。今須林業がしかり。その他にも三重県の篤林家で戦後いちはやく枝打ち作業を取入れた人が、現在この木材不況にかかわらず有利に販売している事実もあり、住宅産業がどんどん発展してゆく中で外材や代替品の進出にただ指をくわえてはいけないと考えます。

また従来の考え方で切り口はなるべく最小にということであったが、それも場合によって

別表(2)は前述の三重県篤林家の枝打ち法であります。その説明によると枝は下から打ちあげたら樹皮がむけずキズもなおりやすいが、実際には木に登ってする作業ですから思ったよりむつかしいので下から切れ目を入れて上から打ち落とす。

枝の打ち方

## クイズ

第10回

### ライオンとイノシシ

暑い夏の日ざかり、のどの乾いたライオンとイノシシが同時に泉をみつめました。

東からライオン、西からイノシシ、泉をはさんでにらみ合い。

「俺の方がさきだ」とお互いにゆずらず、アワヤアワヤと思うと戦二匹は、樹の上のタカが、どちらかが倒れたら食おうと待ちかまえているのを見て、「ハゲタカに食われるなら、仲よくゆずりあった方がいね」と仲直りして、泉の水をのんだそう

### シロバラコーナ

賢明な考慮が必要以上のマサツを防ぐことになりましょ

よく判断して、小さいことにこだわらず、よく話しあ

い、理解を深めて明るい社会を築きましょう。



「イソップ物語から」

- いつものとおり解答は全部本紙に出ています。
- よく読んで、ふるってご応募下さい。
- ◆問題
- ①馬路村議会議員選挙の投票率は何パーセントでしょうか?
  - ②馬路村議会議員選挙の結果新人は何人当選したでしょうか?
  - ③今春、村内の小学校へ入学予定の児童は何人ですか?(四十六年三月一日現在)
  - ④シロバラは何のシンボルでしょうか?
- ◆応募のさだめ
- ・官製ハガキ、一人一通に限りです。
  - ・住所、氏名もハッキリ書いて下さい。
  - ◆送り先：馬路村役場内、シロバラクイズ係
- ◆賞品：正解者のうち抽せん、特賞一名(万年筆) 記念賞として二十名に記念品(ボールペン)をおくります。
- ◆締切日：四月三十日
- ◆乾正男さん(東川) 特賞
- ◆第九回の結果
- 第九回のクイズには五十五通の応募があり、正解は五十二通でした。
- 抽せんの結果、馬路東川部落の乾正男さんに特賞、魚梁瀬の内川須馬子さんから二十名に記念賞をおくりました。
- ◆第九回の正解
- ①一般会計予算の累計は、一億九千六百二十九万二千円
  - ②村長選挙の投票率は九十三・四一%
  - ③馬路村で今年成人式を迎えた者は二十名
  - ④シロバラは明るく正しい選挙のシンボル。

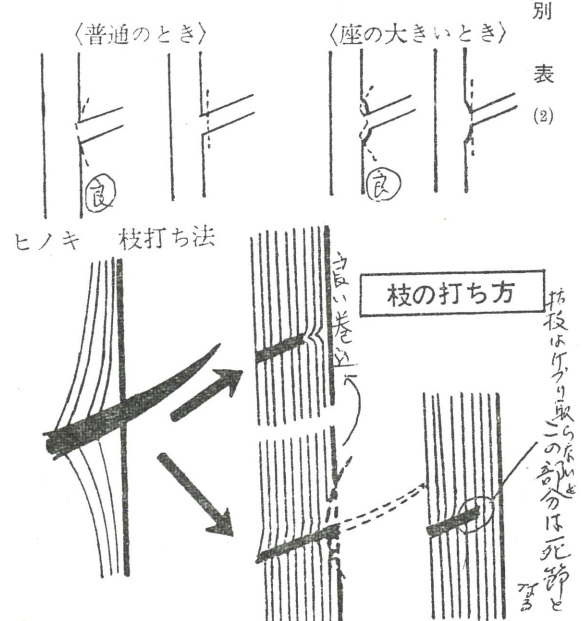
別表(1)

樹種	普通材別	立木価格			育林経費	差引収益	比率
		主	伐間	計			
スギ	普通材	5,350,000	320,911	5,670,911	(年6分後価) 1,541,385	4,129,526	100%
	良質材	21,005,000	1,037,316	22,042,316	2,058,708	19,983,608	483.9
ヒノキ	普通材	9,558,000	357,621	9,915,621	2,063,083	7,852,538	100
	良質材	55,632,500	1,023,944	56,656,444	2,787,076	53,869,368	686.0

「註」スギ、ヒノキ共に普通材は植栽本数4,400本、残存本数2,000本、良質材は5,000本植栽、残存本数2,500本、伐期は普通材良質材共にスギ30年、ヒノキ35年

労力はどの位かかるか (1畝当り)

樹種	枝打林令	1人1日の工程	残存木	労働力
スギ	8年	250本	3,600本	82人
	11	150	3,550	
	15	80	3,500	
ヒノキ	10	175	3,500	114人
	15	105	3,450	
	20	56	3,400	



は、例えば枯枝とか座の大きい枝は別表(2)図の点線のように木の幹までけつてしまうことも必要であると述べてあります。

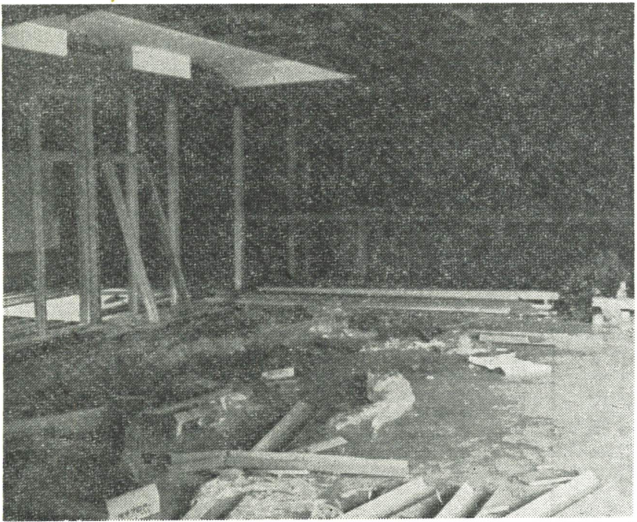
# 高知県 交通災害組合 加入しよう

## ことしもみんなで 加入しましょう

ことしも年始早々県内で死者三名、重軽傷者百三十六名にのぼるいたましい交通事故の犠牲者が出ました。

交通事故により一家の大黒柱を失ったため、明日の生活に困る人たちが、一生不具のまま苦しむ人たちは、このままではますます増加するばかりです。

- 1、加入できる方  
県内町村に居住し、住民基本台帳に記録されている方、または外国人登録をしている方などなたでも加入できます。
- 2、加入申込みの期間  
毎年二月一日から三月三十一日まで各町村役場にて受付
- 3、共済期間  
毎年四月一日から翌年三月三十一日まで
- 4、共済掛金  
一人につき年額五百五十円(納入後の掛金は返還しませぬ)
- 5、対象になる交通事故  
日本国内で自動車、電車、自動車、原付自動車軽車両によっておこった人身事故。
- 6、災害見舞金  
(1)死亡の場合 五十万円  
(2)一週間以上一ヶ月未満の傷害は 五千円  
(3)一ヶ月以上二ヶ月未満の傷害は 一万二千元  
(4)以後医師の治療期間が一ヶ月延長する毎に、七千円宛増額支払い、その限度



### 完成まぢか! 馬路公民館

一月下旬から、改築工事を行なっている公民館は、順調に工事が進んでいます。

改築工事の内容は、次のように新装されます。

(階下)「単位は㎡」

- ・談話室 24
- ・図書室 32
- ・調理室 46 (調理台3台)
- ・和室 23
- ・事務室 38 (今までの事務室と図書室)
- ・小会議室 23
- ・ホール、便所、その他 86

一階面積計 二百七十二(二階)

- ・大集会室 100
- ・結婚式場 24
- ・展示室 27
- ・実習室



三月二十五日正午より地域集団電話が開通されますが市外通話や市内通話ともに混雑が予想されますので電話をおかけになる場合は相手の番号を調べて、必ず番号でお申込み願います。なお用件はメモなどとして要領よく早く済ますように致しませう。

転居した場合の郵便利用  
毎年三月から四月にかけて、入学、就職あるいは転勤などのため住所の変わる人が多く多くなりますので、次の点に注意して迷い子郵便の防止にご協力ください。

- 一、郵便局へ転居届を  
転居された場合は、忘れずに郵便局へ転居届を出してください。郵便局では転居届が出されないと、旧住所へ来た郵便物を一年間新住所へ転送のサービスをいたします。
- 二、表札、郵便受箱を必ず  
新住所の郵便が間違いなく配達されるように、新居には家族全員の名前がはっきりわかる表札を掲出していただくとともに大型郵便物もはいる標準規格の郵便受箱を設置してください。
- 三、住所を正しく  
あらたな住所から郵便をお出

電話は必ず番号でお申込みを



### 郵便局だより

しになるときには、差出人住所も正確に、郵便番号も忘れずにお書きください。

また、アパート等にお住まいのかたは〇〇荘〇〇号室〇〇様方等と必ず肩書きしてください。

収穫木 一、四四七本  
一本平均 一・二升  
収量十七石 @千五百円  
二、一五〇千円

馬路農協協高  
41年度柚子酢販売量  
三百三十本(三・三石)  
@千三百円

42年度 百九十二本(一・九石)  
@千三百円

43年度 五十五本(五斗五升)  
@千七百円

44年度 六十本(六斗)  
@千九百六十円

45年度 二十八本(二斗八升)  
@千八百六十円

柚子玉出荷量(換算K数)  
43年度 八百六十kg  
@二百七十円(K当り)

44年度 五百六十kg  
@二百二十円

45年度 一、二四七kg  
@四百五十円

46年度 四六二kg  
@四百五十円

現況については以上のような数字が出ています。次号は今後の見通しなどについて掲載致します。

### 馬路村のユズ栽培の現況について

馬路村内のユズ栽培の現況と、今後の見通しは次のとおりです。(四十五年十二月現在)

- ◎収穫木 一、四四七本 一戸平均12本
- ◎幼木 七、四九一本 一戸平均 一一〇本
- ◎栽培本数 八、九三本 一戸平均 約六十本
- ◎栽培農家戸数 幼木 六八戸 収穫木 一一〇戸

【幼木】  
四百本以上 一戸  
三百本 二戸  
二百本 八戸  
百五十本 六戸  
百本 十三戸  
五十本 十六戸  
十本 十九戸  
九本以下 三戸

### 二出産おめでとう(い)かご持

父	母	赤んぼ	生年月日	部落
影山 情三	昌子	憲章	1.4	魚梁瀬
伊井 一男	清子	けい	1.6	魚梁瀬
田中 稲満	吉子	睦美	1.12	魚梁瀬
伊吹 敦男	浄	仁朗	1.18	魚梁瀬
笹岡 俊	まゆみ	大輔	2.8	朝日出

### ごめい猫をお祈りします

氏名	性別	行年	亡月日	世帯主	続柄	部落
山崎 春樹	男	7	1.1	勉	二男	魚梁瀬
木下 敬寿	女	73	1.13	国清	養母	東川
林 秀	女	61	1.25	勝利	祖父	相名
尾谷 政吉	男	78	1.30	明男	妻	日浦
西野 寿子	女	52	2.5	信雄	同居人	日浦
岡村 丑与	男	80	2.9	大西晴光	本人	魚梁瀬
山下 陽子	女	33	2.14	本人	長女	魚梁瀬
岡田 忠夫	男	17	2.20	三郎	二男	魚梁瀬

## 教育の窓

### 第十四回「国語研究大会」に出席して

- 【出席者】 橋田 康子 岡村 芙美  
野川 広美 公文早智子  
窪田 操 坂本 和生

第十四回「国語研究大会」は十一月二十一日から二十三日までの三日間次のような日程で行なわれた。

第一日は会場を四天王寺会館において、沖田幸和先生(大阪市榎並小学校)の「私の国語教育と子供達」横田秋吉先生(岸和田市城内小学校)の「国語教材と教科書の問題」についての特別報告が行なわれた。続いて住井すえ先生の、「続「橋のない川」を書きあげて」と題する同和教育と教師像の講演、子供達による作品朗読、講師棟鳩十先生による「読書と人間形成」の講演等が行なわれた。最後に清原久元氏の「基調」と講演で第一日目の研究大会は幕を閉じた。

第二、三日目は会場を大阪教育大学附属天王寺小学校に会場を移して、授業研究、分科会、シンポジウム等沢山の行事が行なわれた。

第二日午前中は小学校一年から中学生までの実地授業と、その授業のテーマによる分科会での発表、討議であった。

△実地授業▽  
一年 物語文の指導 野名竜二  
二年 説明文の指導 今井鑑三  
三年 詩教材の扱い方 小西健二郎  
四年 作文教材の扱い方 山本正次  
五年 物語文の指導 清原久元  
六年 説明文の指導 古田 拓

これらの実地授業の後、九つの分科会にわかれて、テーマに対する研究発表と教育実践上の疑問や意見の交換がなされた。午後には、「国語授業の問題点(よい授業とは)」についてのシンポジウム、波多野完治先生

(お茶の水大学総長)の「国語教育とことばの問題」についての講演、末川博先生(立命館大学名誉総長)の「日本の教師に訴える」の講演で第二日目の幕をとしたが、狭い教室に西日本の各地から出席して先生方がおし寄せたために、廊下からも授業参観できぬ先生もある状態に自由な一日であった。

第三日目は、物語文をとりあげ、教材観、主題、授業研究等を主体とした会の委員と参加者との教材研究についての話し合いが午前中行なわれ、午後は、古田拓先生(和光大学教授)の「望ましい国語教室のために」と題する講演と、野名竜二氏(国語教育連盟委員)の総括講演「これからの国語教育を考えると」で第十四回国語研究大会の三日間にわたる研究発表の幕を閉じた。

読書と人間形成について 棟 鳩十先生講演より

現在の社会では「読書」が人間形成の上でなくてはならぬものでありながら、視覚を媒介とした具体的な安易なテレビというものに子供は向きがちで活字に親しむ子供が少なくなっています。このような読書嫌いな子供に、本の面白さを発見させ、本に親しませる方法として幼い日に培われる「前意識」の問題を提起して講演が行なわれた。

読書によって得られる、知識や情緒や感動や喜びは、意志を必要とし、積極的な活動の中から生れるが、テレビのように視覚から入って来るものは意志の力をほとんど働かせる事なく、先方から一方通行の状態であって流れてくるために、時(四面へ)

(三面から)には、意志力をも流し去る程、受身の立場である。この世界の生活の中で読書の喜びを見いだすのは不可能に近いことである。生活のゆとりをとりもどす湯けむりの風呂場であった、一家だんらんの暖かい部屋で親と子が一緒に読書をとらえ、子供の心の中に深々とした限りの空想を湧かしてやるような物語の復活を「読書」に取り入れ、その環境の中から親と子供の深い谷間に橋がかかれ心のとけ合っているような前意識を作ることが、読書嫌いを少なくするのではないか。また、一日の生活のリズム

### 視察研修旅行報告

魚梁瀬中 飯田 美博

磯部中学校、生徒数五百十三名、学級数十四、教職員数二十五名、中位の規模の学校です。学校の施設として、理科室、技術室、調理室、体育館などを見学しましたが、校舎自体が老朽校舎で設備の面でも自分の勤務校と比べて、格段の出色はなかったように思いました。ただ、教育相談室という特別の部屋があり、学校ではカウンセラーが大変熱心になり、教師と生徒間の温い触れ合いを通じて、教育効果をあげているとのことでした。

次に、私が当校を視察に行った本目的にふれます。当校は四十三年度から県教委の指定を受けて、小集団学習の指導にあたり、小集団学習の指導が開始されたことと、出発以来三年めを迎えるが、色

の中で十分でも十五分でも、笑い、涙ぐみ、語らうその瞬間こそ読書が子供の人間形成の上に必要なものとなってくるとは、ないでしょうか。字が読めるから自分で本を読みなさい。家では文学全集を買い与えてあるというだけでは、子供の活字に対する抵抗は大きいようです。読書によって知識を得、大きな感動を持たせるように私達も心がけていきたいものです。第十四回国語研究会で印象深かった藤嶋十先生の講演の中からは心に残っていたことを書き出して報告いたします。

毎日できん生徒達に勉強を教えに学校に来ているのではありませぬから、先生が私達に授業をして下さい。」というように生徒達の中からも不満がでて問題になったり、又、「仲間に入れてみ入るつもりで生徒達がかえってグループの中で浮上って仲間はずれになったり。」など、その他、色々問題があったようです。現在では全教科一様には集団学習には適さず、教科によって小集団をとって普通の形態の授業もやっているとのことです。そして、三年めを迎えた今日一応、完成期とみなして、今度小集団学習指導の上になお、課題学習という形を取り入れて指導に当たっているとのことです。全教科にわたって前日に課題を出しておくようですが、このようにすることにより、自主的な学習意欲を高めて行こうというのだそうです。課題は小集団の中で話しあわれ、助けあい、消化されて、授業の時に発表されるという形態で授業が進んでいます。西根先生、浜野先生お二人も生徒指導の係でしたが、お二人の先生の案内で英語、数学、社会の授業を参観させていただきました。三年間の積み上げの結果か、先生方の指導よろしく、スムーズに活発な授業が展開されていきました。色々問題もあるだろうし、並み並みならん努力と忍耐が必要だろうが、全職員一致して一つの目標に取り組んでいる姿は立派なものだし、感銘しました。

次に、参考のために磯部中学校の学級指導計画を抜粋しておきます。

教師と生徒、および、生徒相互に温い接触を保ち、個人として、又、集団の一員として必要な立派な資質を養成する。

指導の基本方針

- 1、小集団活動を基盤とした学級運営をする。
- 2、教育相談などを用い、個人の意欲の向上を計る。
- 3、教育相談、ミルク給食、昼食、清掃時、クラブ活動、遠足、旅行等の行事を通じて、常に教師と生徒相互間の温い触れ合いを高める。
- 4、規則の尊重を厳守
- 5、自主的、自発的活動を重視する。

全国生活指導研究第十二回全国大会は一九七〇年八月一日より三日間、福岡県筑紫野町二日市温泉でおこなわれました。わたしは金沢大会にわづらわつて参加して、前回にもまして朝は早くから夜遅くまで続く熱心な討議に心をうたれました。参加分科会は第十分科会の「学級集団づくりと学習集団」で参加者は約百五十名、基調提案も香川の須藤先生、広島市の林先生の実践報告を中心に十の班に分かれてきびしい討議が続きました。自己紹介のとき班の中で声が一番大きかったという理由で、第七班の班長に推され、司会、発表も、とりわけきびしい研究会でした。発言権もなかなかとれず、全員発言もならず優秀班にもボロボロにもなることができなかった。班員の方々は迷惑をかけたが(自分を班長にした責任は班員にもあるのですが……)自分にとってははまたない試練のときで、大いに勉強になりました。分科会の内容の概要と、自分の実践の一端を述べて報告にかえたいと思います。

基調報告

学級集団づくりが授業に与える肯定的な面

- (1) 授業における規律維持の力
- (2) 授業に對して意欲的に取り組んでいく力
- (3) 科学的な認識を追求する力
- (4) 学習における個人責任と集団責任とを統一する力

学級集団づくりが授業に与える否定的な面

(1) 班の性的な性格、つまりあらゆる生活的な諸問題を受けとめ、それらを克服するプロセスの中で、集団というものを教えるために組織されたところからくる班の性格は、学習固有の目的を追求するために、集中性や能率性をさまたげる面がある。

だから、学習のためにグループも班とは別に作る必要がある。

二、須藤提案

一時間の授業を二つにする場

三、林提案

学級集団づくりの方法を授業

合、(A)教材分析(2)発問計画、(C)学習集団の分裂という手順をふんで授業化を考へることにする。そして、(C)が学習集団の問題であり、(B)によって、ひきおき、おこされる(C)の問題を処理していく中で、子どもたちの集団が主体的に学習に取り組むが、学習集団の指導だと考えらる。

四、わたし(大原)の場合

自分の学級の場合には、生活班をそのまま、学習班として使っている。そして、昨年度は生活班即学習班長であったが、今年度は試みに、班は生活班で、班長とは別に自分の教科である英語のリーダーを選出している。

自分の学級でない場合、学級に班はあるが実質活動してない場合には、別に授業の班を編成し、班長は主に、教科内容面の指導をしているが、規律面もノータッチではない。各班に班ノートを渡し、授業終了後、全班員が記入したり、あるいは班長のみが記入したりして提出。学習班長会実施。

学習班日誌の一例

「班員全員がよく意見を出してくれ、協力してくれた。いろいろな意見があると班が活気づいて楽しく、また、よい勉強になると思った。どうしてこのように感じたかというとき、きょうの例をあげると、練習問題の文法のところ、一つの問いに對して、ぼくはすぐこうだと思つて、K君がこうじゃないかと言つた。Nさん、Oさんからも

寒さも峠を越し、花のたよりがまもなく聞ける時期になりました。

次号は五月三十日発行の予定です。投稿の方は、原稿用紙二枚ぐらいで五月一日までに公民館へ。

日毎日できん生徒達に勉強を教えに学校に来ているのではありませぬから、先生が私達に授業をして下さい。」というように生徒達の中からも不満がでて問題になったり、又、「仲間に入れてみ入るつもりで生徒達がかえってグループの中で浮上って仲間はずれになったり。」など、その他、色々問題があったようです。現在では全教科一様には集団学習には適さず、教科によって小集団をとって普通の形態の授業もやっているとのことです。そして、三年めを迎えた今日一応、完成期とみなして、今度小集団学習指導の上になお、課題学習という形を取り入れて指導に当たっているとのことです。全教科にわたって前日に課題を出しておくようですが、このようにすることにより、自主的な学習意欲を高めて行こうというのだそうです。課題は小集団の中で話しあわれ、助けあい、消化されて、授業の時に発表されるという形態で授業が進んでいます。西根先生、浜野先生お二人も生徒指導の係でしたが、お二人の先生の案内で英語、数学、社会の授業を参観させていただきました。三年間の積み上げの結果か、先生方の指導よろしく、スムーズに活発な授業が展開されていきました。色々問題もあるだろうし、並み並みならん努力と忍耐が必要だろうが、全職員一致して一つの目標に取り組んでいる姿は立派なものだし、感銘しました。

次に、参考のために磯部中学校の学級指導計画を抜粋しておきます。

教師と生徒、および、生徒相互に温い接触を保ち、個人として、又、集団の一員として必要な立派な資質を養成する。

指導の基本方針

- 1、小集団活動を基盤とした学級運営をする。
- 2、教育相談などを用い、個人の意欲の向上を計る。
- 3、教育相談、ミルク給食、昼食、清掃時、クラブ活動、遠足、旅行等の行事を通じて、常に教師と生徒相互間の温い触れ合いを高める。
- 4、規則の尊重を厳守
- 5、自主的、自発的活動を重視する。

全国生活指導研究第十二回全国大会は一九七〇年八月一日より三日間、福岡県筑紫野町二日市温泉でおこなわれました。わたしは金沢大会にわづらわつて参加して、前回にもまして朝は早くから夜遅くまで続く熱心な討議に心をうたれました。参加分科会は第十分科会の「学級集団づくりと学習集団」で参加者は約百五十名、基調提案も香川の須藤先生、広島市の林先生の実践報告を中心に十の班に分かれてきびしい討議が続きました。自己紹介のとき班の中で声が一番大きかったという理由で、第七班の班長に推され、司会、発表も、とりわけきびしい研究会でした。発言権もなかなかとれず、全員発言もならず優秀班にもボロボロにもなることができなかった。班員の方々は迷惑をかけたが(自分を班長にした責任は班員にもあるのですが……)自分にとってははまたない試練のときで、大いに勉強になりました。分科会の内容の概要と、自分の実践の一端を述べて報告にかえたいと思います。

基調報告

学級集団づくりが授業に与える肯定的な面

- (1) 授業における規律維持の力
- (2) 授業に對して意欲的に取り組んでいく力
- (3) 科学的な認識を追求する力
- (4) 学習における個人責任と集団責任とを統一する力

学級集団づくりが授業に与える否定的な面

(1) 班の性的な性格、つまりあらゆる生活的な諸問題を受けとめ、それらを克服するプロセスの中で、集団というものを教えるために組織されたところからくる班の性格は、学習固有の目的を追求するために、集中性や能率性をさまたげる面がある。

だから、学習のためにグループも班とは別に作る必要がある。

二、須藤提案

一時間の授業を二つにする場

三、林提案

学級集団づくりの方法を授業

合、(A)教材分析(2)発問計画、(C)学習集団の分裂という手順をふんで授業化を考へることにする。そして、(C)が学習集団の問題であり、(B)によって、ひきおき、おこされる(C)の問題を処理していく中で、子どもたちの集団が主体的に学習に取り組むが、学習集団の指導だと考えらる。

四、わたし(大原)の場合

自分の学級の場合には、生活班をそのまま、学習班として使っている。そして、昨年度は生活班即学習班長であったが、今年度は試みに、班は生活班で、班長とは別に自分の教科である英語のリーダーを選出している。

自分の学級でない場合、学級に班はあるが実質活動してない場合には、別に授業の班を編成し、班長は主に、教科内容面の指導をしているが、規律面もノータッチではない。各班に班ノートを渡し、授業終了後、全班員が記入したり、あるいは班長のみが記入したりして提出。学習班長会実施。

学習班日誌の一例

「班員全員がよく意見を出してくれ、協力してくれた。いろいろな意見があると班が活気づいて楽しく、また、よい勉強になると思った。どうしてこのように感じたかというとき、きょうの例をあげると、練習問題の文法のところ、一つの問いに對して、ぼくはすぐこうだと思つて、K君がこうじゃないかと言つた。Nさん、Oさんからも

寒さも峠を越し、花のたよりがまもなく聞ける時期になりました。

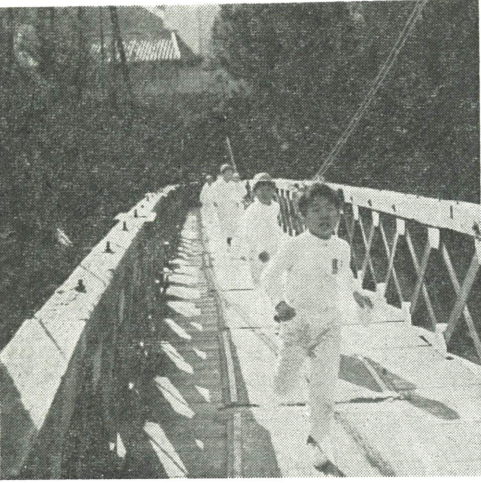
次号は五月三十日発行の予定です。投稿の方は、原稿用紙二枚ぐらいで五月一日までに公民館へ。

寒さも峠を越し、花のたよりがまもなく聞ける時期になりました。

次号は五月三十日発行の予定です。投稿の方は、原稿用紙二枚ぐらいで五月一日までに公民館へ。

寒さも峠を越し、花のたよりがまもなく聞ける時期になりました。

次号は五月三十日発行の予定です。投稿の方は、原稿用紙二枚ぐらいで五月一日までに公民館へ。



さむさにまけない元気な子 一馬小マラソン大会

「先生、私達は毎

「先生、私達は毎

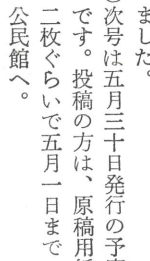
「先生、私達は毎

「先生、私達は毎

「先生、私達は毎

「先生、私達は毎

「先生、私達は毎



編集後記